

「おぶぶ」のプレスリリース

ハワイ大学での「茶畑オーナー制度」事例発表、反響大 ～ハワイの農業の新しい展開に影響するか。和東町と連携の可能性も～

京都・和東町の農業ソーシャルベンチャー【京都おぶぶ茶苑】(代表：喜多 章浩 <http://obubu.com/0774-78-2911>)は12月よりハワイに滞在し日本茶普及活動中。1月19日(現地時間)、州立ハワイ大学の要請により、副代表の松本が農業研究者・茶農家らに対しプレゼンテーションを行った。

自給率が20%を切るなど危機に瀕するハワイの農業に新たな方向性を開く可能性として、約10年前より12名の農家が茶栽培に挑戦しているが、栽培には成功しているものの経済的にはまだまだ成功しているとは言いがたい。そのような状況の中、ハワイ大学熱帯地域農業人材研究センターのHu博士はおぶぶ茶苑の「茶畑オーナー制度」の生産者と消費者を直結するしくみについて興味を持ち、研究者や農家を集めた場での事例発表の要請にいった。

当日の参加者は約20名。2時間半に渡り発表と質疑応答が行われた。参加したハワイの農業研究者、農業従事者は非常に強く興味を持たれた様子で、茶の栽培に関することからデリバリのこと、経営的な内容にいたるまで多岐に渡り質問が続々と浴びせられた。

また、日本の独立行政法人中小企業基盤整備機構の担当者も、ハワイでの別件の予定を繰り合わせて急遽参加して下さった。この件は渡り前に和東町町長と、和東町としても前向きに技術供与や人材交流していく用意がある旨も話をしていたが、ハワイとおぶぶ茶苑ないし和東町との間で何らかの事業を連携して行っていく話も現実化する可能性がさらに高まったという感触を得た。

(概要) 当日の発表資料も下記 URL よりご覧いただけます

日時：1月19日 15:00

場所：州立ハワイ大学 熱帯地域農業人材研究センター
ハワイ島ヒロ・コモハナ研究センター カンファレンスルーム
Conference room, Komohana Research and Extension Center, College of
Tropical Agriculture and Human Resources, University of Hawaii at Manoa.

英題：「How to create steady cash flow through internet membership system
Obubu Tea Plantation case study」

(いかにしてインターネットメンバーシップ制度によって安定的なキャッシュフローを創造するか?
おぶぶ茶苑のケーススタディ)

http://www.obubu.net/pdf/100119hawaii_tea.pdf

明日以降、個々の農業関係者等と、この件についてより具体的なディスカッションや打ち合わせを行う予定。

この後おぶぶ茶苑は1月末までハワイで、日本茶普及と継続的な普及拠点開拓に向け活動していく。その様子やトピックは、おぶぶ茶苑ブログで随時紹介していくほか、プレスリリースも発信していく。

(参考)

▼おぶぶ茶苑ブログ「おぶログ」 <http://www.obubu.net/oblog/>

この情報のお問い合わせは、下記までお願いします。

お茶の通販・京都おぶぶ茶苑 合同会社 ★取材可能です。ご連絡ください。

担当 松本 靖治 (まつもと やすはる) 喜多 章浩 (きた あきひろ)

URL：<http://obubu.com/> mail：obubu@obubu.com

電話：0774-78-2911 FAX：0774-78-2215 携帯：090-6129-6184

619-1213 京都府相楽郡和東町大字南小字大生水4-4